第弐学年週刊情報誌
學年通信
48回生版

兵庫県立伊川谷高等学校 48回生

発行所　〒651-2104
神戸市西区伊川谷町長坂 910-5
県立伊川谷高校 印刷室
電話 代表 078-974-5630
FAX 078-974-5631
https://www2.hyogo-c.ed.jp/weblog2/ikawadani-hs/

紙面から

5 この夏に付いた差
4 いよいよ選択受講科目
3 マジ大変これからの教育
2 語り継ごう震災の記録
1 帰ってきたおもろいお昼

この夏に付いた差

明らかに成長した人達がいます

この夏、明らかに『ボ～っとして何もやってへんかったな！』という者もいれば、『マジで真剣になったな』という者もいます。それは提出課題からも明らかですが、単に『課題がよくできている』とか『試験のできがいい』だけじゃなく、日常の行動が変わってます。

右下写真を例に取ってみよう。彼女は昼休憩にプリントを解いている。これは提出間近で焦っている訳では無い。その日習った事を『忘れる前に解いて頭に定着させよう』としているのだ。何もしない者との差は開くばかり。本気の者が報われる世の中であって欲しいな！

行動が結果を生む！

いよいよ選択！ 3年次受講科目

必須条件は 進級する事！

9月4日(水)の6限目は3年次選択科目の説明会を体育館で行いました。集合完了14時30分、既に6限目開始から5分経ってます。野田先生の、

「1学期末の学年集会の話、覚えてますか？修学旅行が心配です。」

ホンマにそうやで！

初めに教育課程表（3年間の授業一覧）と選択科目内容の説明一覧表が配られました。

「しっかり説明聞いて、間違いのない様に！」

過去にも中途半端な理解で取れない科目を希望する者がちょこちょこと居ます。これはマジで教師泣かせです。

「異文化交流って授業は外国の人との交流ではなく、何回か神戸学院大学の先生が来て…」

科目名に惑わされてはいけません。一度にたくさんの科目の説明があったため、『電源が落ちかけている者』も居ます。

「科目の希望人数によっては開講されない場合もありますので、希望理由と第2希望科目もボールペンでしっかりと書いて下さい。」

選択希望調査は一人一人にカスタマイズされた専用用紙に記入する事で行います。調査用紙の提出締め切りは

9月19日(木)

です。よく直前になって、「用紙無くしました～っ」という先行き不安な者が出てきます。

無・く・す・な・よ！

選択科目説明会の様子

夏が過ぎても研修

皆の生命を守る教職員の努力

「先生の研修って夏だけなん？」

そんな事ありません！

大人は日々学びの時間、日々研修です。始業式の後も、教職員がそろって柔道場に集まりました。何故？？

「大丈夫ですかーっ、聞こえますかー誰か来て下さい！あなたは救急車、あなたはAEDを持ってきて下さい。」

ふんっ、ふんっ、ふんっ

と、年に一度の『心肺蘇生法』の講習を受けました。『もしも』のときに備え、先生たちも頑張ってます。皆もそんな大人になってくれよな、頼んだで！

教職員全員が実際に心肺蘇生法を学びます

体育大会 10月4日（金）

あるときは5つ（のクラス）
あるときは1つ（の学年）
実態を見せて飛び回る
正義の集団（であって欲しい）

重要

伊川谷高校48回生広報

マジ大変これからの教育

日常生活で知るハズの事も学ぶ時代

小学生算数の問題です。『100円を持って1個20円のお菓子を3個買いました。おつりはいくらですか？』この問題が解けない小学生が今、とても増えているそうである。

『え？こんな掛け算も分からへんの？』

いいえ、引っかかるのはそこではありません。

「先生っ、おつりって何ですか？」

そう、『おつり』の意味が分からないのです。

キャッシュレスの時代、現金のやり取りを経験したことのない子ども増え、実際に『おつり』をもらった経験のない子どもが急増しているのです。中には『PiTaPa』『クレジットカード』『PayPayアプリ』などを、欲しい物をくれる魔法のカード（アプリ）と認識している子どももいるそうです。そもそもの『お金』という概念が抜け落ちているのです。

世の中が便利になっていく反面、お金の使い方・一般的な電話の取り方・手紙の出し方…など、日常生活の中で自然と身に付いていた事が、今は『学ばなければならない』時代なのです。これらの事を、これからは『いつ』『誰が』『何処』で教えるのでしょうか？

10年前の実話ですが、受け持っていた生徒が入試出願用の切手をコンビニで買ったのですが、渡されていたのは『収入印紙』でした。

緊急事態だ！本を読め！朝読がマジ重要な時代だぜぃっ

課題考査当日返却す

9月6日（金）の3限目に行われた数学Bの課題試験がその日の終礼で返却されました。

何という事でしょう！

返却された方も苦笑いですね（苦笑）。

手にした返却答案

天性人語48th

私の愛読書である漫画の一つに『島耕作』シリーズと言うモノがある。▼この漫画は1983年『課長島耕作』から始まり、連載とともに主人公も歳をとり、タイトルも『部長…』『取締役…』『常務…』『専務…』『社長…』『会長…』『相談役…』と変わり、40年を越える現在、『社外相談役島耕作』が連載されている。松下電器（現・パナソニック）を参考に、電機メーカーに勤める島耕作の仕事ぶりを描いた漫画である。▼漫画なのでかなりの誇張はあるが、企業とその中で働く人間の、表の部分や裏の部分、派閥抗争や出世競争など、かなりリアルに描かれているのではないかと思う。▼『常務島耕作』において、出世した島耕作は語っている。「人生の5割は自分の力で変えられるが、残りの5割は他力の部分だ。俺はその残りの5割で運が良かった」と。そうなのだ、実力だけではどうにもならないのが実社会である。▼しかし『運も実力のうち』と言うではないか。実力がなければ運も来ない。やはり必要なのは『実力』なのである。実力をつけるのはいつですか、それは今でしょう。（福田）

今でしょ！

兵庫県立
伊川谷高等学校
逍遙歌（2番）

作詞 矢田部 大
作曲 岡村 俊治

夏瀬戸内の海鳴りて
紺碧の水にたたずめば
あゝ我が友よ常磐木の
不易の掲示君聞くや

高 学年キャッチフレーズ 笑顔・夢

校訓 自主 協同

応募作品を2号に渡り一挙掲載！

作品第1弾

今年もやったよ 絵はがき課題

今年ものイカ高48回生、やりました。夏課題の『担任にハガキを書こう』で送られてきた作品より学年選考を行い、絵手紙部門15点を日本郵便主催『手紙作文コンクール』に応募しました。全15作品を2号に渡り一挙掲載。力作揃いに今年も期待大です！

伊川谷高等学校
神戸市西区伊川谷町長坂910-5
兵庫県立伊川谷高等学校内
〒651-2104 電話078-974-5630

高 弐學年・笑顔・夢・學年通信

「弐學年」は兵庫県立伊川谷高校創立48周年の記念すべき年に入学してきた48回生の総称です。生徒の総合的な発達を願って幅広い学習活動を展開しています。笑顔絶えない学年生活を。

読者のページ　School Teacher @ Voice

語り継ごう、震災の記録

あの日、あの時、あの場所であった事

101年前の9月1日は『関東大震災』という首都・東京がひっくりかえった大地震の起こった日です。（この震災については漫画『はいからさんが通る（大和和紀さん作）』でも語られています）。そして来年の1月17日は『阪神・淡路大震災』からちょうど30年となります。

突然人生を奪われた人、生活が一変した人、本当に多くの人を巻き込んだ都市直下型の地震に、それまで言われていた『神戸に地震は来ない』という根拠無き神話はあっさりと崩れ去りました。

時は流れ、本校でもあの大震災を社会人として直接経験している教職員は僅かとなってしまいました。人間、『嫌な事を忘れる』という特性は大事なのですが、『忘れてはならない事』は後生に語り継がねばなりません。

そんな中、神戸新聞さん協力の下、生徒昇降口にて阪神・淡路大震災当時の様子を現在、パネル展示しています。ふと足を止め、写真を見て、

「この小学校、ボクの母校なんです。火がすぐ近くまで来たって聞いてましたけど…」

と、火の迫る校舎の写真に見入っているI君がいました。当時の様子は語り継がれていたようです。

当たり前の生活が、突然当たり前でなくなる。皆も新型コロナで経験済みのハズ。これらの記憶・記録も後生に語り継ごうな。

パネル展示に見入る!若たち

人権・ちょっと考えよ!

犯罪者を作るんが警官の役目とちゃうんやで！

ある本を読んで、そこに書かれている話に多くの事を考えさせられました。それは特に『校則・規則は何のためにあるのか？』の問いに対する答えをあらためて考えなければならない内容でした。その本の一場面を、ここに紹介します。これは、ある少年と一人の警官の話です。

『俺は高校一年で中退して家にもほとんど帰らず、不良仲間の家を転々としとった。カツアゲや万引きで暮らしとった』

クリスマスの夜、店頭販売されているクリスマスケーキを1個掻っ払った。

「ドロボーっ！」

『盗る気なんてなかった。けど勝手に手がでたんや。幸せの象徴みたいなクリスマスケーキに腹が立ったンかもしれん。俺は箱の中のケーキをグジャグジャにするつもりで蓋を開けた…。その瞬間、眩いばかりのクリスマスケーキが俺の目に飛び込んできた！』

ケーキに手を伸ばしたとき、その手を横から強く握る手があった。それは初老の警官（お巡りさん）だった。

「署に被害届が出とるそうや。ケーキ1個とはいえ窃盗事件やからな」

その警官は交番の、事務所ではなく奥の部屋へ少年を上げ、熱いコーヒーを出してくれた。

「寒かったやろ、暖まるで」

『早よ手錠かけて署へ突き出せや！』

警官は言うた、

「雪のチラつく中、落とし物のケーキを少年が届けに来た。署にはそう伝えとく」

『な、何じゃそら！』

すると、警官は優しい目で「犯罪者を作るんが警官の役目とちゃうんやで！」

「・・・・・」

「このケーキは元の店に返しておく。もう売り物にはならんやろけどな」

そして、1個のシュークリームを差し出し、

「クリスマスケーキ…ちゅうわけにはいかんけど、食べていき」

『そらもうどんなクリスマスケーキより旨いんとちゃうかと思うほどの旨さやった。口の周囲クリームでベタベタにして夢中で食べたんや』

そのシュークリームは警官が10年前に亡くした我が子を偲んで買っていたモノだった。それを知った少年は、いたたまれずその場を飛び出していた。

『走りながら泪が止まらんかった。チンピラ生活は今日で終いや…』

土山しげる著『極道めし』第3巻より

一番大事な事って…何だろう？

48回生 Love

いつも、どこかで、繋がってるよ

2年あれこれ

▼ピグモン　朝、腕を半分持ち上げ、手を90度折り込みプラプラさせながら登校してきたD君に、

「何でピグモン※のマネしてるんや？」

と問うと、

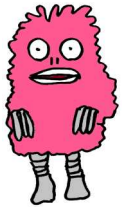
「何ですか？それ？？」

との返答。どうやら令和の高校生はピグモンを知らないようです。

「ピグモンを知らんのか。じゃあ、ガラモンは？」

「？？？」

昭和という時代は、もう遙か昔のようです。



こんな感じのヤツです

※【用語解説】ピグモン　ウルトラマンに出てくる小型怪獣。人類の見方である。令和のウルトラマンにも出ている。ガラモンはウルトラQに出てくる大型怪獣。実はピグモンはガラモンの着ぐるみの使い回しなのだが、設定上は別の怪獣である。

▼忍者のように　水曜日のLHR、終了のチャイムが鳴るやいなや、**しゅたたたたーっ**と階段や職員室前廊下を駆け抜ける5組の生徒たちが多数です。

「終わるの早すぎやろー」

その前に、廊下・階段を走らない！

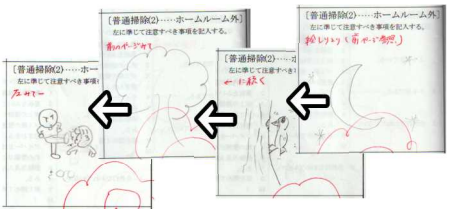
▼まだまだでした　伊川谷高校通（『通』とはある領域に精通している事を指す）を自称する本誌編集長ですが、全然気付いていませんでした。何がって？？B棟の横をふと見上げると、いつの間にか垂れ幕が3本に増えてました。

『あれ？2本だったハズ…』自称伊川谷高校通、まだまだ『自称』でした。頑張ります！

3本あるし…

▼絵しりとり　某クラスでは、学級日誌の一部を利用して『絵しりとり』なるものが行われているそうです。ちょっと見せてもらいました。

あははっ（笑）



ほんの数日分です

じゃりんこ遅延

ホルモン焼き屋を切り盛りする元気な小学生の女の子、それは…

『じゃりん子チエ！』

正解です。でも、9月3日にJRで起こったのは遅延です。ただ、その日は課題考査だったため、遅延者は別室に集められ、1時間遅れで2科目の課題考査を行う事となりました。前回この様な措置が取られたのは、本誌編集長が覚えている限りでは7年前の1学期（中間試験だったかな？）です。滅多にある事ではありません。そんなイレギュラーでした。

広告

帰ってきたぞ　おもろいお昼

2学期が始まり、ついにおもろいお昼の時間が再開しました。

『楽しいお昼、じゃないの？』

はい、楽しいを通り越して、おもろいです。例えば…

「うおっ、このエビフライ、尻尾がないヤンか！」

そうなんです、エビフライとしての重要部位である尻尾が最初からないんです。これでは『尻尾を食べようか、残そうか…』と迷う事すらできません。

こちらのおにぎりには『パンクシーの絵のような海苔』が貼ってあります。

「自分で切ったの？」

当然違いました。自分で切れたら切り絵の天才になれます。

さらにこちらでは、

「Tさんのお弁当、メチャ美味しいって！」

と言って、Tさんの焼きめし？チャーハン？が狙われています。Yさんがパクリと食べました。それを横でSさんが笑ってみてます。後ろのIさんも笑ってるけど、ホントは食べたそうです。皆に狙われていたTさんの焼きめし？チャーハン？でした。

（焼きめしとチャーハン、似てるけど違うものです。）

「このベーコン、病院の味がする～っ」

どういう表現ですか？でもNさんの言いたい事、何となく分かる気がします。

「先生、この間の載らんのん？？」

「この間の？」

「ほら、割り箸の…」

「ああ、アレな！」

右の方に載せました。最近はコンビニも『あの手この手』で攻めてきますな。この割り箸袋の発想はなかなかです。

尻尾のないエビフライ

パンクシーっぽい海苔のおにぎり

狙われたTさんの弁当

それでは最後に、食堂で楽しそうにしている人達の写真で記事を終えましょう。え、写真でスペース埋めようとしてるって？

バ、バレたかっ

食堂で楽しそうにしている48回生たちです

割り箸袋です

今日を精一杯生きるからこそ、明日が生まれる。今日を無事に過ごせたからこそ、また明日を過ごすことができる。当たり前のことだけど、つい忘れがちなことです…